

当院において患者が求める 管理栄養士との関わり方と 栄養指導効果の検討

小笠原 紘子¹⁾ 大山 恵子¹⁾ 前田 真歩¹⁾ 横関 美枝子¹⁾
林 優衣¹⁾ 諸見里 仁²⁾ 大山 博司²⁾ 藤森 新²⁾

(1) 医療法人社団つばさ つばさクリニック

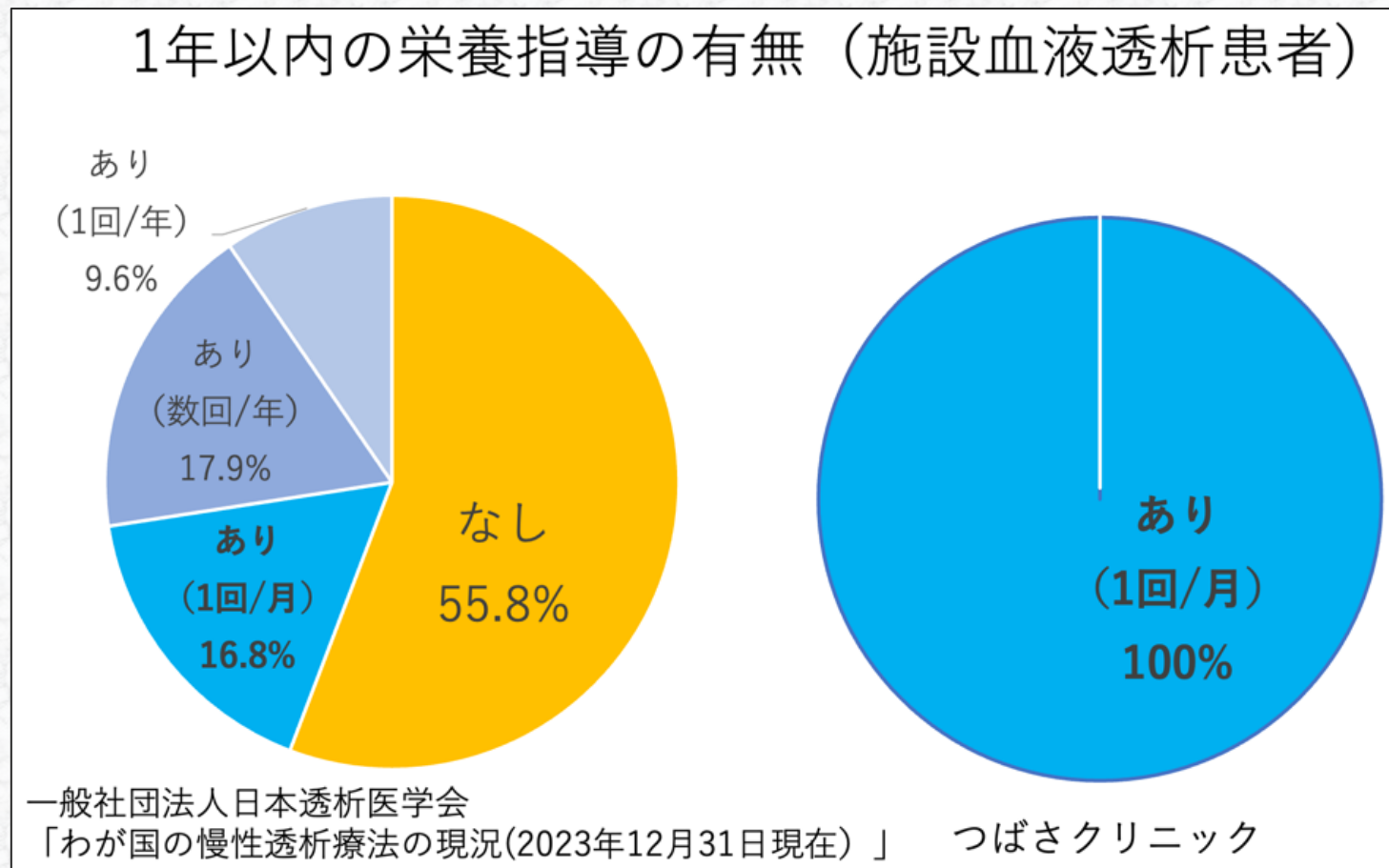
(2) 医療法人社団つばさ 両国東口クリニック



第71回日本透析医学会学術集会・総会
COI開示
筆頭発表者名：小笠原紘子

演題発表に関連し開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

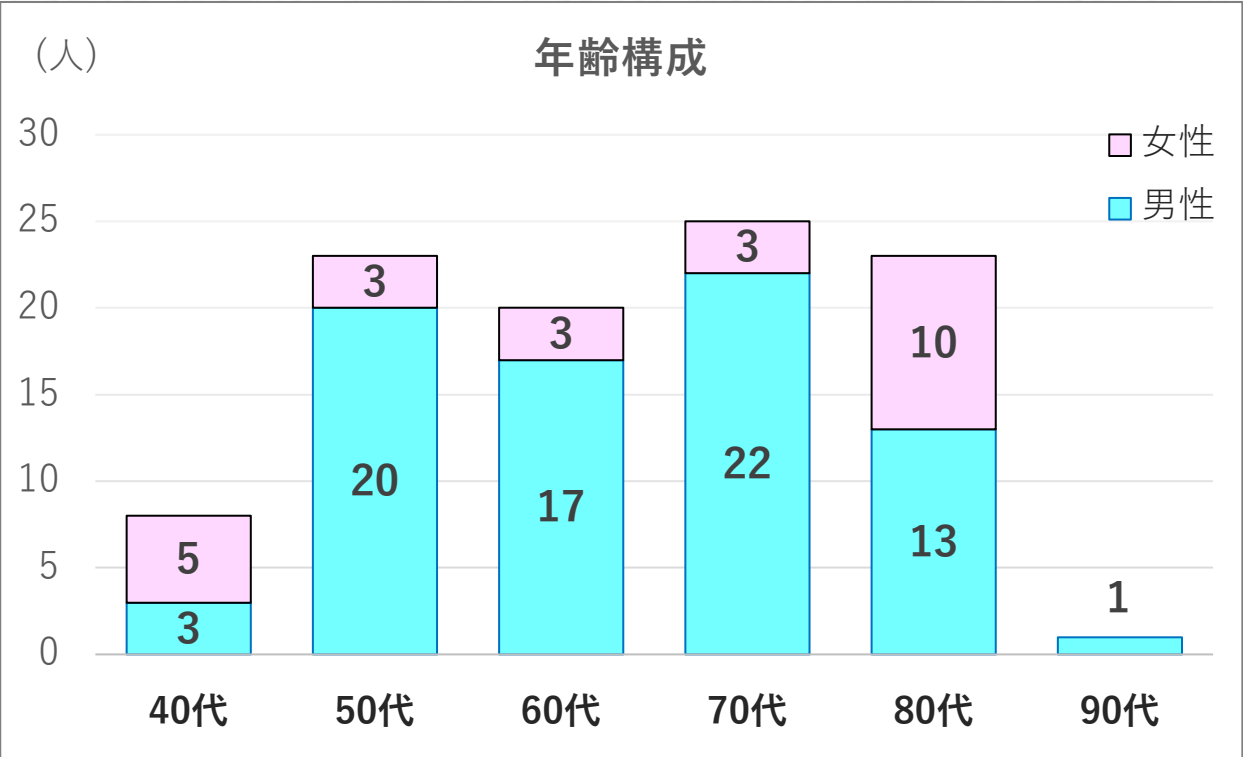
目的



本研究では、当院で行っている高頻度な栄養指導が患者の食事療法および生活習慣に与える影響を明らかにすることを目的とし、当院独自のアンケートを用いた実態調査を行った。

対象と方法

性別	人数(人)	DM合併(人)	年齢(歳)	透析歴(年)
男性	76	33 (43.4%)	67.9 ± 11.8	10.4 ± 7.3
女性	24	8 (33.3%)	67.8 ± 14.9	9.4 ± 9.6
合計	100	41 (41.0%)	67.9 ± 12.6	10.2 ± 7.9



① 栄養士と食事の話をする事で、より良い透析治療に繋がっていると感じますか
【 とても感じる 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 全く感じない 】

② 透析中に栄養士と食事の話（栄養指導）をする頻度はどのくらいが適切だと思いますか
【 毎回 ・ 週1回 ・ 月2回 ・ 半年に1回 ・ 年に1回 】

③ 血液検査のデータの中で、食事の影響があると感じる項目は何ですか
当てはまるものにチェックを付けて下さい。（複数回答可）
☐尿素窒素 ☐ヘモグロビン（貧血）☐アルブミン ☐カリウム ☐ナトリウム
☐リン ☐カルシウム ☐血糖値 ☐その他（ ）

④ 栄養士と食事の話（栄養指導）をしたことで、意識するようになった
（自己管理に繋がっている）と感じる項目はどれですか（複数回答可）
☐水分 ☐食塩 ☐たんぱく質 ☐炭水化物・糖質 ☐油
☐リン ☐カリウム ☐鉄分 ☐腸内環境・食物繊維 ☐カルシウム
☐ビタミン類（特に： ）☐その他（ ）

◎選んだ項目の食事の工夫方法について、教えてください。
（ ）

⑤ 筋力低下予防に、運動と食事の両面から気を付けることは重要だと思いますか
【 とても思う 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 全く思わない 】

⑥ 食塩を控えていますか
【 いつも ・ だいたい ・ あまり ・ まったく 】

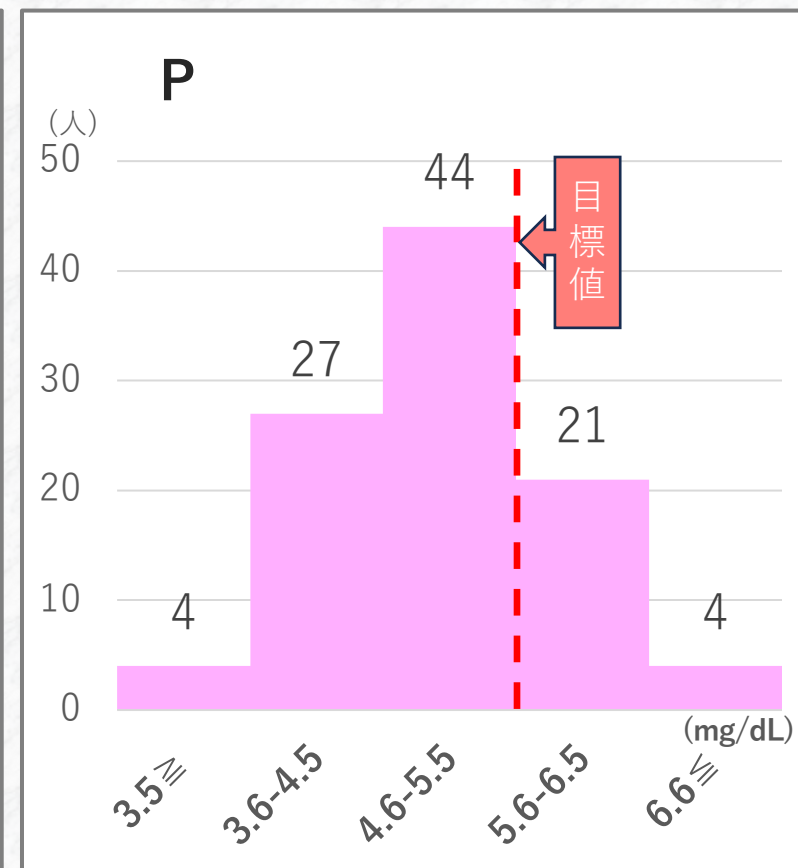
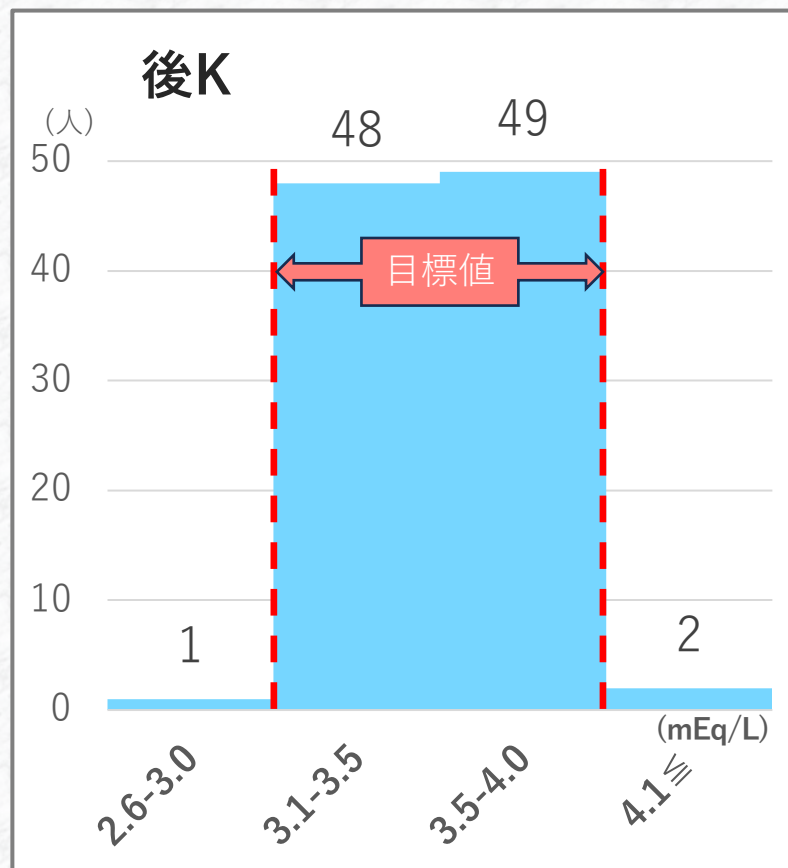
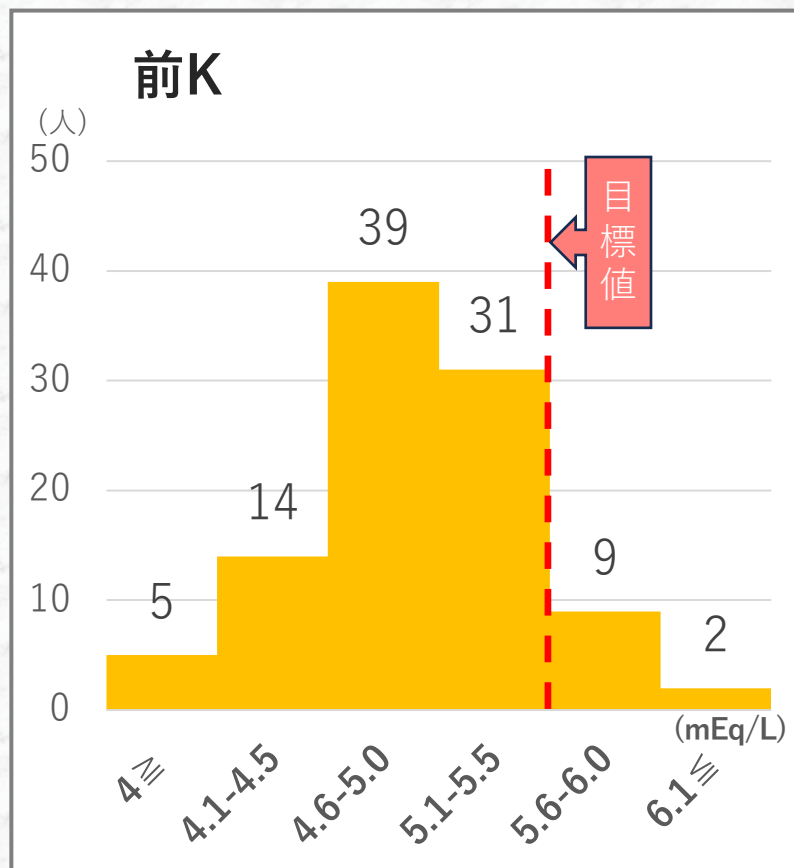
⑦ リンが高くなる食品は避けていますか
【 いつも ・ だいたい ・ あまり ・ まったく 】

⑧ カリウムが高くなる食品は控えていますか
【 いつも ・ だいたい ・ あまり ・ まったく 】

ご協力ありがとうございました。

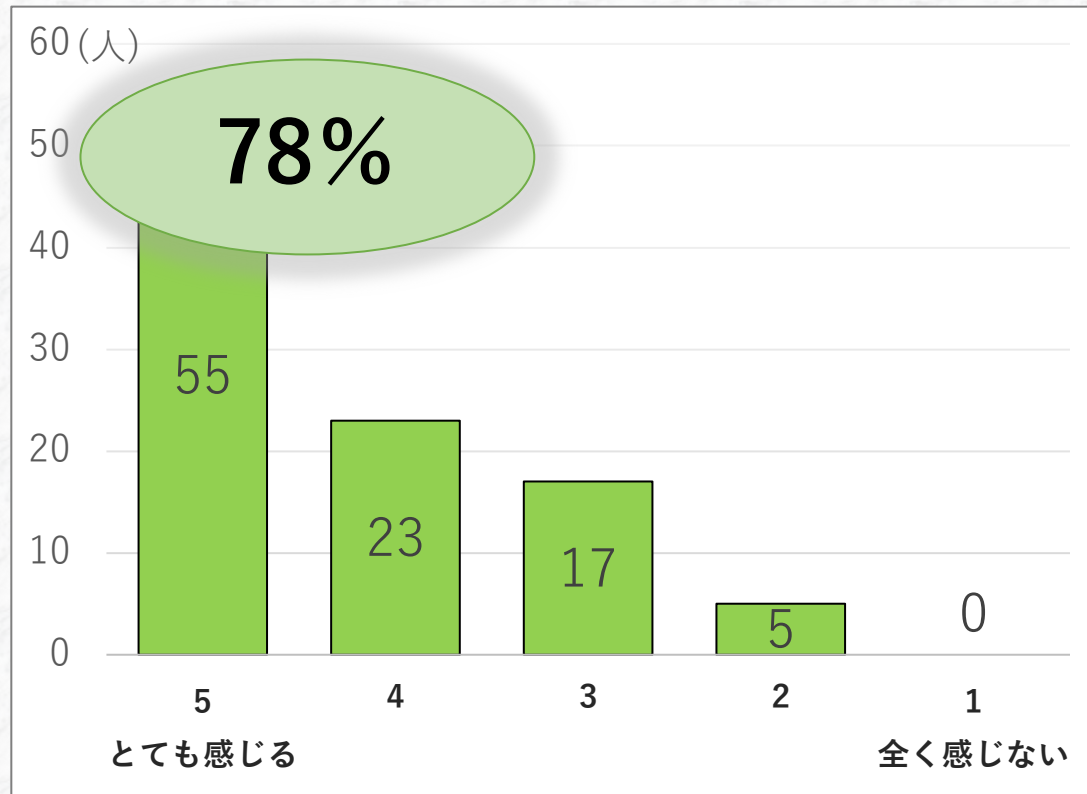
対象患者のデータ

	BUN (mg/dL)	Alb (g/dL)	nPCR (g/kg/日)	前K (mEq/L)	後K (mEq/L)	P (mg/dL)	塩分摂取量 (g/日)
平均	68.2 ± 11.8	3.8 ± 0.2	0.92 ± 0.14	4.9 ± 0.5	3.5 ± 0.3	4.9 ± 0.9	9.8 ± 4.2

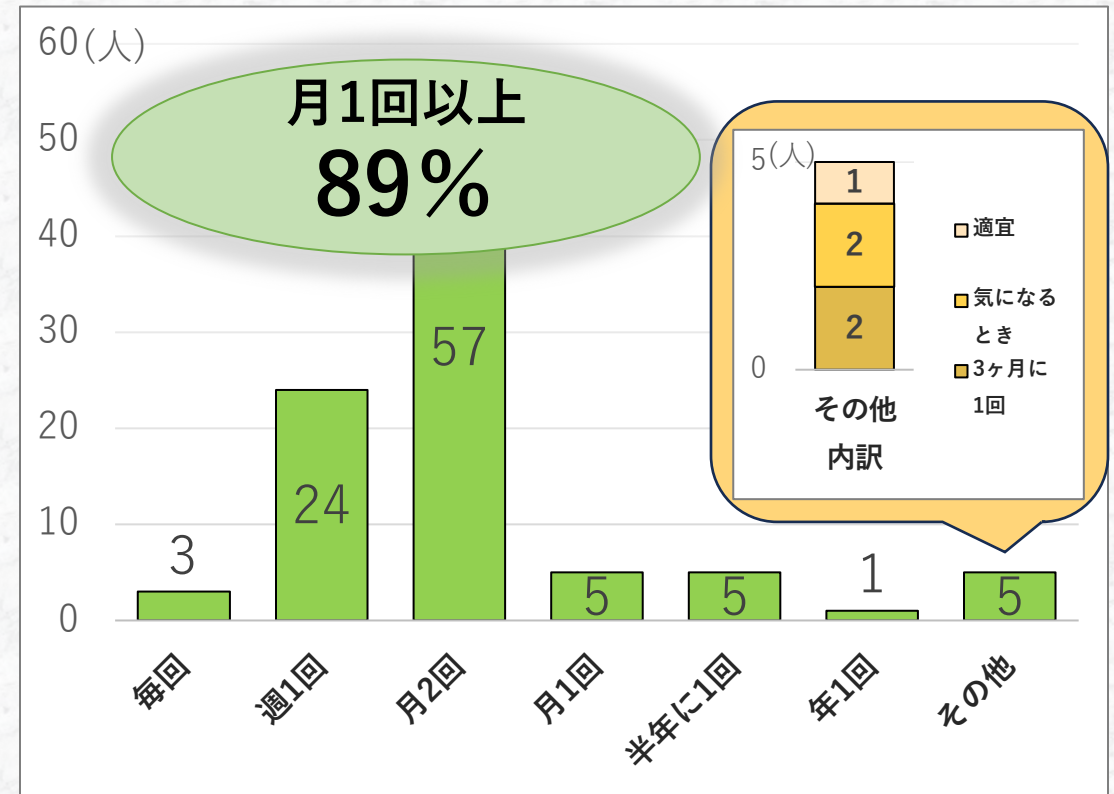


アンケート結果

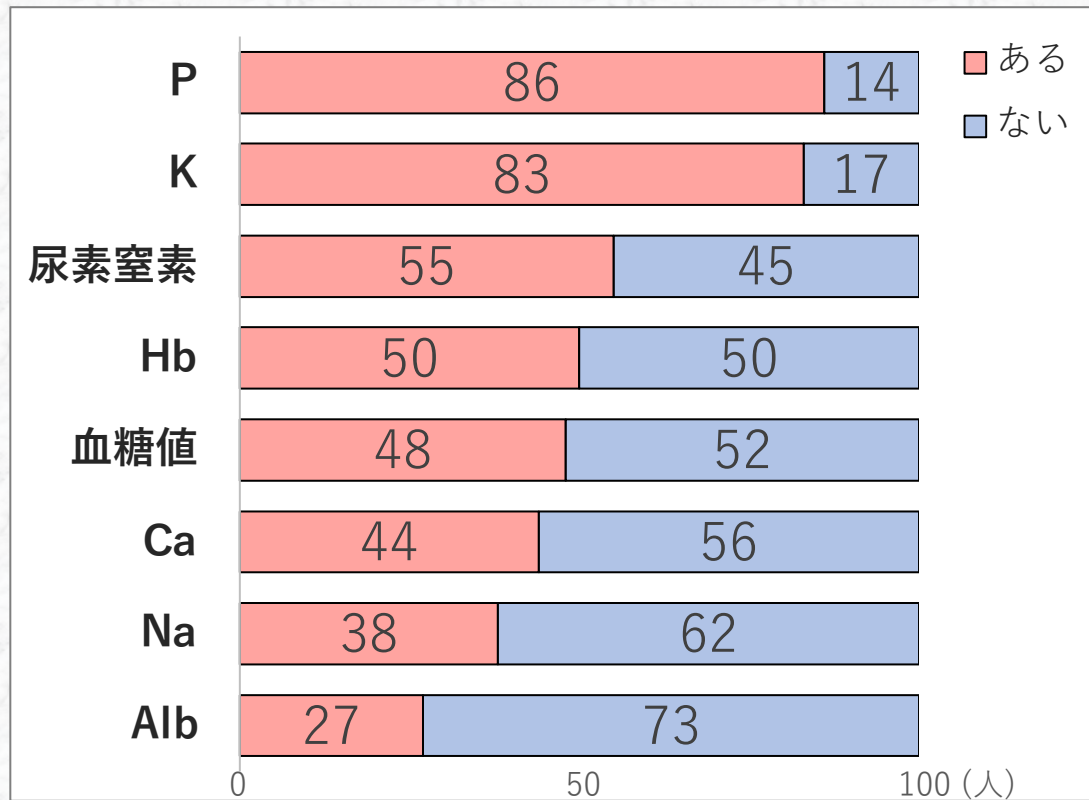
①栄養士と食事の話をすることで、より良い透析治療に繋がっていると感じますか



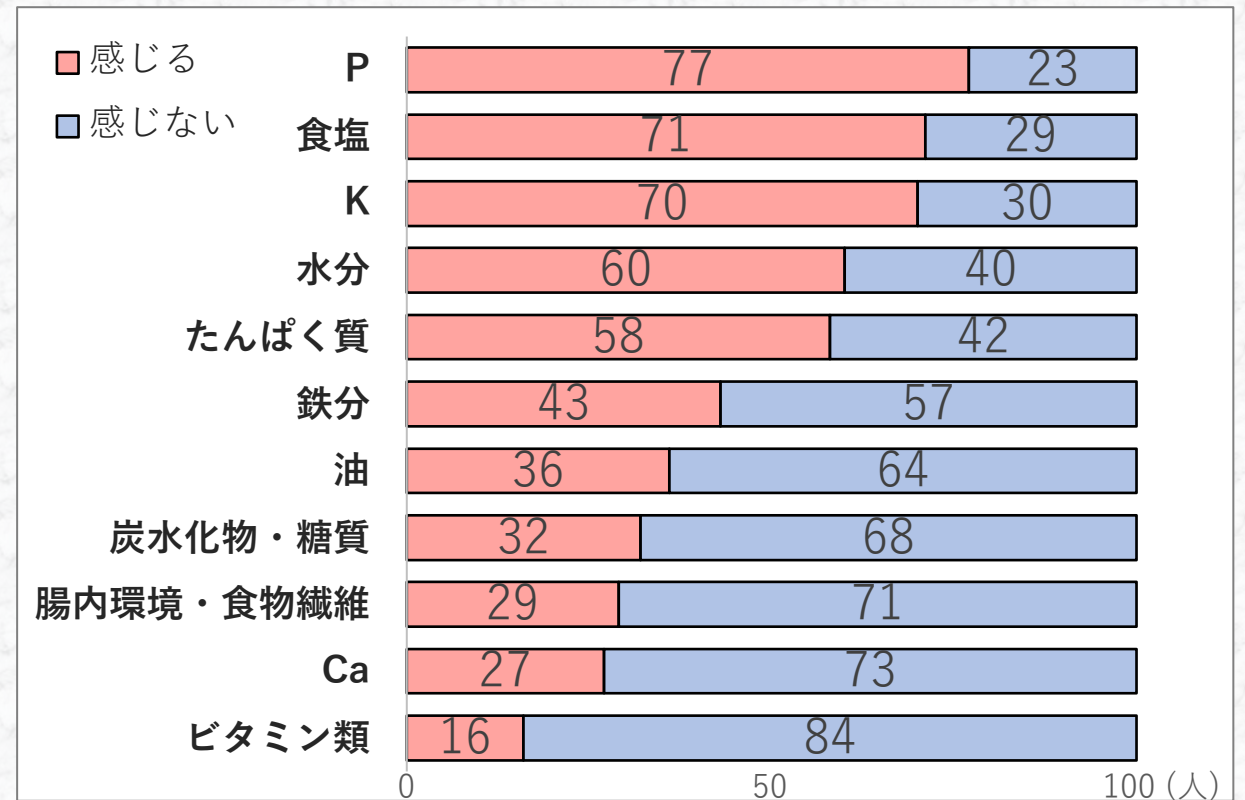
②透析中に栄養士と食事の話（栄養指導）をする頻度はどれくらいが適切か



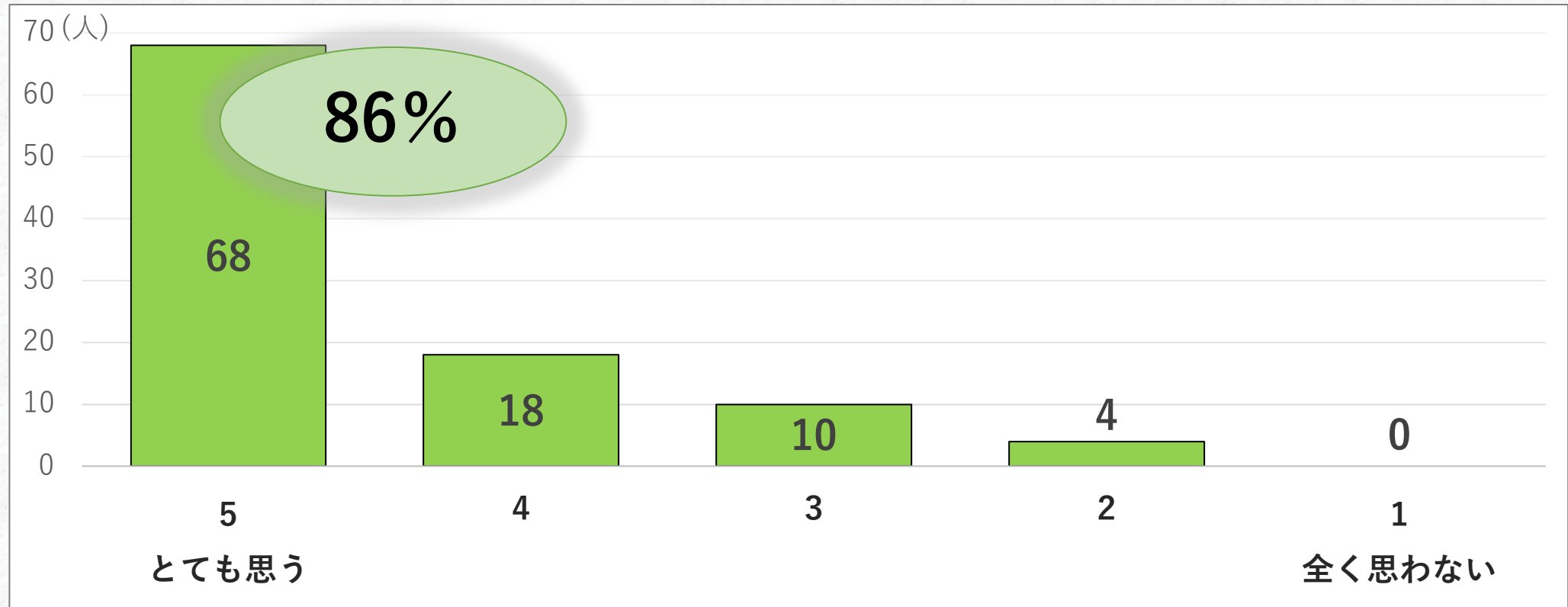
③血液検査のデータの中で、食事の影響があると感じる項目は何か



④栄養士と食事の話（栄養指導）をしたことで、意識するようになった（自己管理に繋がっている）と感じる項目はどれか



⑤筋力低下予防に、運動と食事の両面から気をつけることは重要だと思うか



当院が透析中の運動を積極的に導入している背景が影響しており、多くの患者が**運動と食事療法**の重要性を認識している

⑥ 食塩を控えていますか

【 いつも ・ だいたい ・ あまり ・ まったく 】

⑦ リンが高くなる食品は避けていますか

【 いつも ・ だいたい ・ あまり ・ まったく 】

⑧ カリウムが高くなる食品は控えていますか

【 いつも ・ だいたい ・ あまり ・ まったく 】

いつも ・ だいたい → 実施している
あまり ・ まったく → 実施していない として集計

⑥食塩を控えているか

項目	平均		p
	いつも / だいたい 実施している群 75%	あまり / まったく 実施していない群 25%	
BUN(mg/dL)	67.8 ± 11.4	69.4 ± 13.5	0.442
Alb(g/dL)	3.8 ± 0.2	3.7 ± 0.3	0.899
nPCR(g/kg/日)	0.92 ± 0.13	0.91 ± 0.15	0.921
塩分摂取量(g/日)	9.3 ± 4.0	11.2 ± 4.5	0.030
中2日間 透析間 体重増加率(%)	4.7 ± 1.5	4.8 ± 1.8	0.358
透析歴(年)	8.8 ± 7.6	14.3 ± 7.4	0.001

塩分制限を実施している群では、実施していない群と比較し、塩分摂取量、透析歴に有意差を認めた

- 透析患者の塩分摂取量の目標値である塩分6g未満は達成していないが、塩分制限を意識しながら、必要なたんぱく質や栄養状態が維持できている
 - 中2日間の透析間体重増加率は、平均して目標の5%以内を達成できている
 - 塩分制限を実施していない群の方が、透析歴が長い
- 継続的な栄養指導により、減塩が生活習慣として**定着している**

⑦リンが高い食品は避けているか

項目	平均		p
	いつも / だいたい 実施している群 75%	あまり / まったく 実施していない群 25%	
BUN(mg/dL)	68.9 ± 11.7	66.1 ± 12.5	0.277
Alb(g/dL)	3.8 ± 0.2	3.7 ± 0.3	0.744
nPCR(g/kg/日)	0.93 ± 0.13	0.88 ± 0.16	0.162
P(mg/dL)	5.0 ± 0.8	4.7 ± 1.1	0.099
透析歴(年)	10.6 ± 8.4	9.0 ± 6.0	0.633

リン制限を実施している群では、実施していない群と比較し、リンの値が高い傾向を認めたが、有意差はなかった

⑧カリウムが高い食品は避けているか

項目	平均		p
	いつも / だいたい 実施している群 68%	あまり / まったく 実施していない群 32%	
BUN(mg/dL)	69.5 ± 11.0	65.3 ± 13.4	0.106
Alb(g/dL)	3.8 ± 0.2	3.7 ± 0.3	0.363
nPCR(g/kg/日)	0.93 ± 0.13	0.88 ± 0.16	0.088
前K(mEq/L)	5.0 ± 0.5	4.8 ± 0.5	0.072
後K(mEq/L)	3.5 ± 0.3	3.5 ± 0.3	0.950
透析歴(年)	10.5 ± 8.0	9.5 ± 7.7	0.562

カリウム制限を実施している群では、実施していない群と比較し、透析前カリウム値とnPCRが高い傾向を認めたが、有意差はなかった

- リン・カリウム高値で栄養指導を受けた経験があり、意識が高まっている
- 栄養指標は概ね維持されており、栄養状態を保ちながら食事管理に取り組んでいる

考察・結語

本調査より、管理栄養士が身近に介在し、即座に相談可能な環境が透析治療において求められていることが示された。

塩分制限では、透析歴が長い患者ほど制限を実施していないと回答する傾向を認めたが、実際には透析間体重増加は良好にコントロールされており、継続的な栄養指導が減塩を生活習慣として定着していることが推測された。

一方、リン・カリウム制限においては、高値をきっかけに栄養指導を受けたことで、栄養状態を維持しながら食事管理への意識が高まっている可能性が考えられた。

以上のことから、継続的な栄養指導は患者の自己管理能力を向上させ、良好な食事コントロールの維持に寄与していると示唆される。

ご清聴ありがとうございました。

